

令和6年度 第4回川崎市宮前市民館専門部会会議録（要旨）

日 時 令和7年2月16日（日） 13:00～17:00
会 場 宮前市民館 第4会議室

出席者	部会長	川西 和子	調査モデレーター・分析・各種司会
	副部会長	山本 太三雄	菅生分館利用者懇談会
	委 員	渡辺 美代子	宮前区文化協会 会計
		白武 初江	宮前第6地区民生委員児童委員協議会 会長
		高久 實	宮前区全町内・自治会連合会 理事
		檜崎 光雄	市民委員
		宮下 大志	宮前区PTA協議会 副会長
欠席者	中川 正彦	川崎市立富士見台小学校 校長	

事務局 宮前市民館 大木館長・徳原係長・星野主任・篠原主任・石毛主任
加古主任・田浪職員
菅生分館 田添分館長

会議の成立 委員8名中7名出席のため、成立

会議の公開・傍聴人 なし

次 第

- 1 宮前市民館長あいさつ
- 2 議事
 - (1) 令和6年度市民自主学級・市民自主企画事業の提案について
 - (2) 報告事項
 - ・宮前市民館・菅生分館の社会教育振興事業実施状況について
 - (3) 協議事項
 - ア 今期の研究課題について
 - イ 令和6年度宮前市民館・菅生分館の課題別連携事業について
 - (4) その他

配付資料

- 資料1 令和7年度 宮前区市民自主学級・市民自主企画事業 企画提案書類及び実施要領一式（事前送付資料）
- 資料2 令和6年度 宮前市民館 社会教育振興事業実施状況

資料3 令和6年度 宮前市民館菅生分館 社会教育振興事業実施状況

資料4 事業計画書(案)

- ・令和7年度宮前市民館課題別連携事業「みやまえ子育てフェスタ2025」
- ・令和7年度宮前市民館課題別連携事業「宮前フレンドおもちゃ病院」
- ・令和7年度宮前市民館菅生分館課題別連携事業「おしゃべりサロンすがお」
- ・令和7年度宮前市民館菅生分館課題別連携事業「菅生フレンドおもちゃ病院」

(参考)

●宮前市民館だより 第259号(2月1日発行)

●菅生分館だより 第189号(2月1日発行)

●宮前市民館事業チラシ

- 「ChatGPTを日常生活に活かしてみよう」 市民講師事業
- 「本でつながるまちづくり」 区地域人材育成事業
- 「宮前市民館・菅生分館合同開催 生涯学習交流集会」
- 「ボランティアによる、無料スマホ相談会 2月」 現代的課題学習事業
- 「ボランティアによる、無料スマホ相談会 3月」 現代的課題学習事業

●菅生分館事業チラシ

- 「おしゃべりサロンすがお これからの予定」 課題別連携事業
- 「児童室であそぼう Day」 子育て支援啓発事業

●生涯学習情報誌「ステージアップ」 Vol.252

1 宮前市民館長あいさつ

2 議事

(1) 令和7年度市民自主学級・市民自主企画事業の提案について(非公開)

ア 宮前市民館での実施予定事業のプレゼンテーションおよび質疑応答

イ 菅生分館での実施予定事業のプレゼンテーションおよび質疑応答

ウ 市民自主学級・市民自主企画事業の選考について

(2) 報告事項

・宮前市民館・菅生分館の社会教育振興事業実施状況について

各館の社会教育振興事業について、資料1に基づき、徳原係長・田添分館長から説明を行った。

(質疑応答)

檜崎委員

講座の費用は行政で負担しているので、「うたごえ市民館」などの参加者に対し、市民館だよりを知り合いに配ってもらうよう、協力依頼してもよいのではないかな。

宮下委員

「うたごえ市民館」には115人が応募し、80人が当選し、35人が落選したとのことだが、もったいない。実際の参加者は80人の8割程度だとのことだが、もっと当選させてもいいのではないかな。

徳原係長

会場となる大会議室に実際に椅子を並べたら、80人が適正規模であった。年配の参加者が大多数であるため、感染症対策もあって定員を設けている。

檜崎委員

落選となった人は市民館に悪い印象を持ち、二度と申し込まないかもしれない。飛行機などは多めに予約を受けている。

白武委員

歌のパートごとに分かれているわけでないなら、多めに当選させても大丈夫では。

川西部会長

これだけ人気なのだから、例えば、偶数月のグループ・奇数月のグループのように2つに分けて開催できないかな。

高久委員

宮前市民館に来るのが大変な地域もあるので、人気が高く良い講座なら向丘出張所の2階で行えないかな。向丘地区の人は参加しやすくなる。

徳原係長

今後の運営については、社会教育委員会議で次年度の実施が決まれば、企画委員と職員が様々な方向からより良い方法を検討して実施していくことになる。申込者は多いので、なるべく皆さんの希望を汲んで開催できるように検討したい。

檜崎委員

「音楽のまちかわさき」を標榜するなら、「うたごえ市民館」などの講座を中心に展開してはどうか。事業全体の企画を見渡すと子どもと年配者が対象のものが多く、中間層へ向けての企画がない。若者向けのプレイキンのイベントなどをしたら、盛り上がるのではないかな。

川西部会長

「菅生分館だより」で、様々な活動の体験や見学ができることを一覧表で紹介するのは見やすく良い。「宮前市民館だより」でも同じような記事を作ったら参加しやすく、市民館側が様々な活動を周知する姿勢があってもいいのではないかな。

徳原係長

昨年度来、専門部会委員の皆様と市民館だよりのリニューアルを行ってきている

が、今後も様々なアイデアをいただきながら情報発信をしていきたい。

田添分館長

宮前市民館は、活動している団体の数が多いので、菅生分館のような紙面づくりは大変なのではないか。

宮下委員

市民自主学級・市民自主企画事業、区役所事業、市民館主催事業は何が違うのか。

徳原係長

内容等を定めた要綱や予算の出どころが違うが、どれも市民館主催の事業であり、各事業に市民館職員が担当者として付いて実施している。

(3) 協議事項

ア 今期の研究課題について

次のとおり、今期の研究課題について意見交換を行った。

川西部会長

専門部会での意見を踏まえて実施している「宮前市民館ってどんなところ？」については、講座のタイトルに魅かれて参加した人が複数いたようだ。市民館が地域の人に未だよく知られていない証拠ともいえる。漠然としたテーマなのに参加した人の中には地域で貢献したいという意志を持つ人が多く、こういった参加者は、今後、市民館にとって大きな戦力になるのではないかと考える。

徳原係長

「宮前市民館ってどんなところ？」の内容を具体的に紹介すると、平和・男女平等推進学習の講座「ひとりで楽しく生きていきたい」や現代的学习事業の「スマホ相談会」の見学をした。さらに、市民館内に配架されているチラシで気になるものを選んで話し合ったうえで、来年度実施する「シニアの社会参加支援事業」のチラシを作ってもらう予定としており、できあがったチラシを実際に使う予定である。

川西委員

親子連れで館内を探検している人もいて、市民館に興味をもっている人はいるようだ。2階ロビーの「グループ情報掲示板」に貼ってあるサークル等のチラシに、見学可能なものには赤いシールを貼るなど、工夫してみたらどうか。

山本副部会長

グループ情報掲示板に掲示している団体同士の交流を図ってはどうか。

徳原係長

年に1度、市民館で活動しているグループが連携して「みやまえ JAM」というイベントを開催している。

川西部会長

「公民館」ではなく「市民館」である理由を説明してほしい。

徳原係長

昭和47年に第1号の市民館として「多摩市民館」が設立された際、「市民自治による市民のための館」という意味で公民館でも区民館でもなく「市民館」とした。

檜崎委員

事業の周知は従来の手法ではなく、SNSなどを使ったり、インフルエンサーを作ったりしてはどうか。

川西委員

年末から2月まで、図書館は受験準備で混んでいるので、市民館の空いている会議室を開放してみてもどうか。混んでいるから帰ってしまう人がいるのはもったいないので、工夫してほしい。

同様に外でダンスの練習をしている人達に、体育室を開放してみたらどうか。

大木館長

昨年夏に、市民館職員と話し合った際、市民館の空き部屋で受験期の学習支援ができないかという意見が出ており、同様の認識は持っている。空いているなら開放できたらいいと考える反面、全市的なルールがあり、有料で貸館を行っている前提の中で、どこまで工夫できるか難しい問題だ。

職員との話し合いでは、料理室の利用促進も課題として挙げた。先日、「ふれあいネット」の個人カードを作り、夜間に有料で料理室を借りて、職員とともに実際に利用したり、料理を行う講座を企画・実施して、講座参加者に料理室での調理を体験してもらったりして、少しでも多くの人に利用してもらえるように取り組んでいる。

イ 令和6年度宮前市民館・営生分館の課題別連携事業について

資料4に基づき、徳原係長及び田添係長が説明を行い、承認された。

檜崎委員

一人暮らしの人をどう支援するかは重要な課題である。マンションでは、伴侶をなくして、孤独な様子の人を見かける。話をする場が必要と考えるが、その人はマンションの集会場には来ない。

人を集めるにはイベントや飲食などの動機が要る。女性はテーマや目的がなくてもおしゃべりをしに来るが、男性は来ない。男性は、写真や財産管理の講座など、趣味や関心等のはっきりした動機があれば参加する傾向があるのではないと思う。

高久委員

男性の場合、地域の事業や自治会なら、顔見知りの人がいれば出席することが多い。役所等が主催する集まりで、周りが知らない人達ばかりだと行きにくいようだ。

(4) その他

次回のワーキングの日程は、4月9日（水）10時から大会議室とする。

専門部会の日程は、新年度になってから決定する。